

令和4年2月9日
水管理・国土保全局防災課
大臣官房参事官(運輸安全防災)
道路局環境安全・防災課
自動車局安全政策課
気象庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

- 関東甲信地方を中心に10日から11日にかけて大雪となる所があり、関東地方南部の平野部でも積雪となるおそれがあります。東京23区では11日12時までの24時間で5から10センチの降雪量を予想しています。
- 気温が予想より低くなった場合には、東京23区をはじめ関東地方南部の平野部でも警報級の大雪となる可能性があります。本年1月6日からの大雪の際にも車両の立ち往生が発生していますので、十分に警戒してください。大雪の場合は、不要不急の外出を控えてください。
- やむを得ず自動車を運転する場合は、ドライバーの皆様には、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底をお願いします。また、降雪状況等により、広範囲での通行止めや、結果として、高速道路と並行する国道等が同時に通行止めとなる場合があります。広域迂回の実施や、通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 令和2年12月や令和3年1月7日からの大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。国土交通省では、冬タイヤの未装着等により立ち往生した事業用自動車に対し、悪質な事例については、監査をしたうえで、安全管理義務違反として、当該事業者の行政処分を行うこととしています。運送事業者の皆様も、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着を徹底するとともに、タイヤの摩耗劣化にも十分に注意して下さい。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

【問い合わせ】 (全般)

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課災害対策室 企画専門官 石尾 浩市
TEL(直通): 03-5253-8461(内線35762) FAX: 03-5253-1608

(公共交通機関に関すること)

大臣官房参事官(運輸安全防災)付 課長補佐 中川 将志
TEL(直通): 03-5253-8309(内線25623) FAX: 03-5253-1531

(道路に関すること)

道路局 環境安全・防災課道路防災対策室 企画専門官 竹下 正一
TEL(直通): 03-5253-8489(内線38252) FAX: 03-5253-1622

(自動車運送事業に関すること)

自動車局 安全政策課 課長補佐(総括) 衣本 啓介
TEL(直通): 03-5253-8566(内線41602) FAX: 03-5253-1638

(気象の見通しに関すること)

気象庁 大気海洋部 業務課 気象情報企画官 竹田 康生
TEL(直通): 03-3434-9055(内線4107) FAX: 03-3434-9047

大雪に対する国土交通省緊急発表 令和4年2月9日

- 関東甲信地方を中心に10日から11日にかけて大雪となる所があり、関東地方南部の平野部でも積雪となるおそれがあります。東京23区では11日12時までの24時間で5から10センチの降雪量を予想しています。
- 気温が予想より低くなった場合には、東京23区をはじめ関東地方南部の平野部でも警報級の大雪となる可能性があります。本年1月6日からの大雪の際にも車両の立ち往生が発生していますので、十分に警戒してください。大雪の場合は不要不急の外出を控えてください。
- やむを得ず自動車を運転する場合は、ドライバーの皆様には、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底をお願いします。また、降雪状況等により、広範囲での通行止めや、結果として、高速道路と並行する国道等が同時に通行止めとなる場合があります。広域迂回の実施や、通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 令和2年12月や令和3年1月7日からの大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。国土交通省では、冬タイヤの未装着等により立ち往生した事業用自動車に対し、悪質な事例については、監査をしたうえで、安全管理義務違反として、当該事業者の行政処分を行うこととしています。運送事業者の皆様も、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着を徹底するとともに、タイヤの摩耗劣化にも十分に注意して下さい。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

【1. 今後の気象の見通し】 2月9日11時時点

<大雪に警戒が必要な時間帯> (■大雪の可能性がある、■大雪の可能性が高い)

日	時	9日		10日	11日
		12~18	18~6	6~24	
茨城県	大雪			■	■
群馬県	大雪			■	■
栃木県	大雪			■	■
埼玉県	大雪			■	■
千葉県	大雪			■	■
東京都	大雪			■	■
神奈川県	大雪			■	■
山梨県	大雪			■	■
長野県	大雪			■	■
静岡県	大雪			■	■

<大雪の見通し(単位:センチ)> 予想される24時間降雪量(多い所、単位:cm)

都県:	10日12時までの24時間降雪量	11日12時までの24時間降雪量
茨城県	2	5~10
群馬県	5	10~20
栃木県	平地 2	平地 5~10
	南部山地 3	南部山地 5~10
	北部山地 6	北部山地 10~20
埼玉県	南部 3	南部 5~10
	北部 3	北部 5~10
	秩父地方 5	秩父地方 10~20
千葉県	北西部 0	北西部 1~5
東京都	東京23区 2	東京23区 5~10
	多摩地方 5	多摩地方 10~20
神奈川県	東部 1	東部 5~10
	西部平地 1	西部平地 5~10
	西部山地 5	西部山地 10~20
山梨県	10	20~40
長野県	北部 3	
	中部 5	10~20
	南部 8	
静岡県	10	5~10

※各地の気象台が発表する気象情報等に留意ください。最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。(https://www.jma.go.jp/jma/index.html)

【2. 過去の大雪における立ち往生事例】

令和4年1月6日の大雪

<大雪のため、首都高速道路で約100kmが通行止め>

○令和4年1月6日(木)は、東京都千代田区北の丸公園で10cmの積雪を観測するなど、関東地方南部を中心に大雪となりました。

○首都高速道路では、1月6日16時30分より通行止めを開始し、最大13路線、約100kmで通行止めとなり、全面通行再開までに1日を要しました。この間、中央環状線などで多数の冬タイヤ未装着車が立ち往生し、その解消に最大14時間を要しました。

○このほか、主要な国道においても冬タイヤやチェーン未装着車によるスリップ事故が多発しました。



首都高速中央環状線の立ち往生発生状況 <令和4年1月6日>



国道357号 路面凍結によるスリップ事故 <令和4年1月7日>

【3. 整備局など現場の対応状況】

○雪による立ち往生や路面凍結によるスリップ等の発生が懸念される場合には、計画的・予防的な通行止めを行います。

令和3年度の立ち往生等の状況



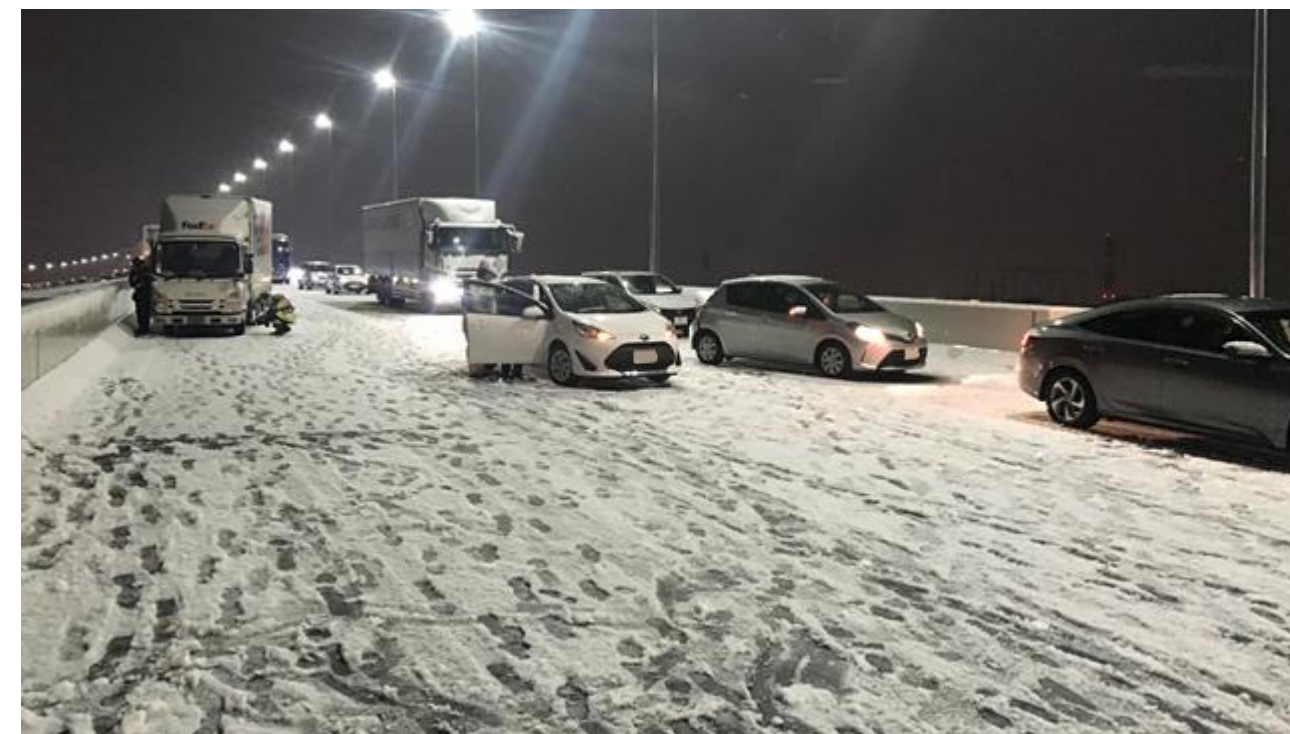
冬タイヤやチェーン未装着車両による立ち往生
＜首都高速道路 横浜北線＞



車両の滞留
＜首都高速道路 台場線＞



冬タイヤやチェーン未装着車両によるスリップ事故
＜国道357号＞



車両の滞留
＜首都高速道路 中央環状線＞